社会福祉法人 宝安寺社会事業部

福祉ほうあん

創立120周年記念号！

VOL. 127

【特集】

ふくしごと

令和元年度事業報告

はじめに

宝安寺社会事業部が
小さな禅寺の一隅ではじまったのは明治33年（西暦1900年）。
今年2020年に創立120周年を迎えます。

法人の黎明期は、戦争と大災害と経済恐慌の中にありました。
明治維新後の混乱の中、小田原の町なかで、
丁稚奉公の少年や漁師の子弟、初等教育しか受けずに働く女の子たちがいました。
昼間働いている彼らは宝安寺の夜間学校に通い、学びました。
子どもたちによりそい、教えたのは20代の住職夫妻でした（最初の職員）。
時代は大正デモクラシーの気運にあふれていました。

その後「四恩会育児院」という孤児院（児童養護施設）をはじめ、
子どもたちの福祉にのりだしたのが「しおん」の起源です。
関東大震災や太平洋戦争、終戦後の復興を越えてきた法人の歴史の中で、
120年間、職員は創意工夫し身を惜しまず働いてきました。

そして時を超え、現代においてもまた、
先人たちが過ごした時代と同様、私たち職員は迷い、
悩みながら、行動をやめず、歩みつづけます。

今回の特集は「ふくしごと」（福祉の仕事）。
時や場所がかわっても、真髄はきっと同じ。
現場の職員の肉声をご紹介できれば幸いです。

Contents

法人全体 …… 03
小田原愛児園 …… 04
ほうあんうみ …… 05
ほうあん第一しおん …… 06
ほうあんのぞみ …… 07
小田原乳児園 …… 08
ほうあんなぎさ …… 09
ほうあんふじ …… 10
コラム きらり通信（ほうあんふじ） …… 11
ほうあん第二しおん …… 12
ほうあんふじみのさと …… 13
ほうあんホッと相談カフェ …… 14
おわりに …… 15
日々是好日 …… 16

法人の理念 ｜ 仏教の慈悲の精神に基づく福祉の実践

人の喜びを我が喜びとしてその人とともに喜び

人の悲しみを我が悲しみとしてその人とともに悲しむ

そして自分を律し高めつつ、人のために働き、人の幸せのために力を尽くす

このことを自身の成長と幸せの糧としていきます

慈悲の精神をもって地域社会の福祉の向上に貢献します

基本方針

1 福祉サービスの充実

保育・療育・支援の質を高める

- 法人職員の支援の基礎をつくる
- 将来を見据えた支援ができる
- 社会参加に向けた支援ができる

2 地域貢献と地域交流

暮らしやすい地域づくり

- 地域を理解する
- 地域との連携を深める
- 持続可能な社会づくりに貢献する

3 人材確保 人材育成

将来の担い手を育てる

- 自分の専門性を生かせるやりがいのある仕事ができる職場をつくる
- 働き続けられる環境を整備する

4 権利擁護 虐待防止

尊厳を守り、幸福を追求する

- 虐待の芽を摘む
- 権利擁護を推進する

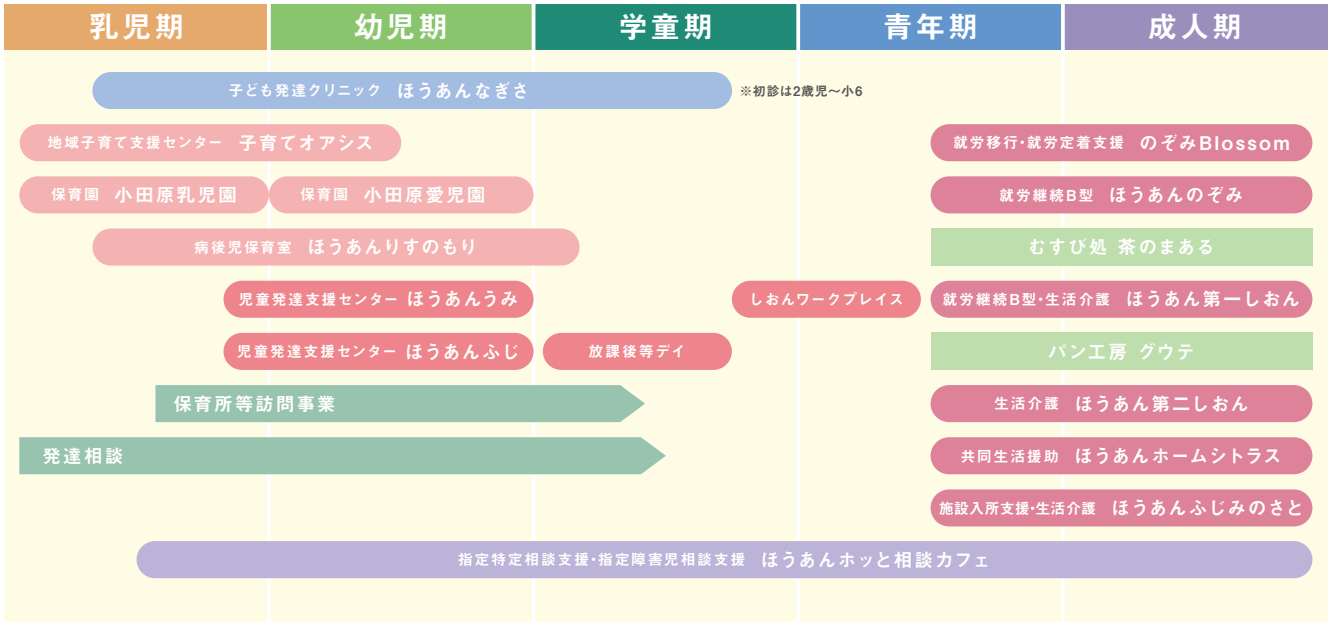
5 経営基盤の強化 運営組織の強化

持続可能な組織づくり

- 運営組織を強化する
- 持続可能な運営のための転換に取り組む

事業内容：第一種社会福祉事業・第二種社会福祉事業（保育・療育・障害）・公益事業（診療所）		
設立：1952年（昭和27年）5月17日	代表者：望月郁文	職員数:307名（令和2年7月1日現在）
事業所：保育園 2カ所／児童発達支援センター 2カ所／障害者支援施設 1カ所／障害福祉サービス事業所 3カ所 相談支援事業所 1カ所／診療所（児童精神科医療）1カ所		

▶ 法人の実施する主な事業 ～人の育ちと発達によりそいながら成人期まで～



小田原愛児園

令和元年度 事業報告

事業内容：保育園 2歳児以上 定員300名、
病後児保育（ほうあんりすのもり）☆令和元年度利用者数239名、
地域育児支援センター（子育てオアシス）☆令和元年度利用者数のべ1,064名

所在地：小田原市浜町1-3-8　電話番号：0465-22-3523

Report 1 たのしい遊びの中で体幹を鍛え、基礎体力の向上にチャレンジ！

豊かな発想、わくわく、やりたい、楽しい！等、子どもたちのチャレンジ意欲が高まるような運動あそびを職員チーム（学年、クラス）で考案し、一年間の取り組み成果を発表する実践報告会を行いました。小田原愛児園では２歳児・３歳児はキッズヨガと体育あそび、４歳児からはサッカー教室とスイミングも加わり、子どもたちの基礎体力の向上をはかっています。

Report 2 法人の児童分野５施設が集合しケースカンファレンスで学びあう

法人の児童分野５施設（保育園、こども発達クリニック、児童発達支援センター）の職員が集まり、ケース検討会を行いました。お子さんの発達過程と成育歴を中心に学びあい、お互いの役割や連携について学びました。

次年度に向けて　SDGs（国連「持続可能な開発目標」）の考え方を職員が学びあい、保育カリキュラムや環境づくりに生かして、子どもたちの豊かな体験と学びに活かしていきます。

ふくしごと❶

見えないものを見る

こんなにじが
あったらいいな～！

できた！の瞬間がある

子どもたちと過ごす日々の中で、「やったね！」「できた！」と言葉を掛けることはとても多い。

その言葉が喜び、笑顔、自信になり、次のチャレンジに繋がる。
だからすごく大事な言葉だと、私自身、思っている。

私たち保育士がかける「できた！」と子ども自身の口から出る「できた！」は大きく違うことに気づいたのは、子どもの本当の「できた！」に出会った時だ。

「せんせ―！できた！できたよ！みて！」
「一人でやったの！みて！」

それまで、保育士が手伝ったり、なんとなくできていたりしたから、私はその時もう出来ているものとしていたけれど、その子のなかでは、その時が自分で出来た瞬間だった。
これまでどんなに、「出来たね！」、「すごい！」と言っても見せなかった表情と声がある。

大事なことは、子ども自身がどう感じているか。「出来ている」と勝手に決めることではないのだ。

子どものなかに「できた！」が生まれるまで、じっくり寄り添ったり、そっと見守ったりすることの大切さ。

自分自身の中で「できた！」と感じる瞬間。
それがどれだけすごいことなのか、あの瞬間の子どもの感動が忘れられない。

子ども自身の中の「できた！」は、はっきりと目に見えるものばかりではないけれど感じることはできる。
感じることのできるこころの目を磨いて、これからも子どもの「できた！」をたくさん見つけていく。

できた！

おっとっと～
ゆらゆらバランス～

おおきくなると、
こんなこともできるよ！

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：中山里奈（保育士・キッズヨガインストラクター）
趣味：ヨガ
最近はまっている事：カメラ
最近なんとかしたいこと事：ハーブを上手に育てたい

ほうあんうみ

令和元年度 事業報告

事業内容：児童発達支援センター 定員30名、
保育所等訪問・発達相談

所在地：小田原市本町2-4-12　電話番号：0465-44-4597

Report 1 多職種で連携して児童発達支援計画書を作成、評価に基づいた日々の支援を実現

発達検査結果、言語評価、作業療法評価、理学療法評価、ポーテージ評価に基礎づけられたアセスメントに基づいた支援計画書を作成、日々の支援に活かしました。専門職どうしの話し合いを年２回以上行い、支援方法の課題分析を行うことで、子どもたちの課題達成につながりました。

Report 2 開成町にて地域支援として親子教室を実施しました

地域支援として１～５歳の親子を対象に年６回実施し、あそびの紹介や関わり方の助言、育児相談、専門職を講師とした勉強会を行い、支援につなげました。令和２年度からは町に職員を派遣して、年20回行っていきます。

次年度に向けて　職員の育成に注力し、療育支援の質の向上を目指します。研修会、ケース検討会議を計画的に進め、お子さんたちの成長を支え、地域に貢献できる資質を身につけていきます。

ふくしごと❷

はじめの一歩

お母さんがいい
これじゃ、いやだ
なんかちがう
初めての場所は不安

そうだよね、そうだよね
大丈夫

そう　わたしは
子どもたちに伝えて
抱っこをする
好きなものを見つける
安心できる人になれるよう
抱きしめる
こだわりを理解する
大好きだと伝える
褒める

そうすると、少しずつ少しずつ

わたしにむかって一歩

好きなおもちゃを見つける一歩

やってみようと思う一歩

もう一回頑張ってみようと思える一歩

気持ちを伝えようと思う一歩

大丈夫と思える一歩

楽しいと思える一歩

子どもたちの一歩は太陽の光をたくさん
浴びた海のようにキラキラと輝いている
だからその一歩がキラキラと輝くように
私は太陽になって手を差し伸べる

今日も手を繋いで
一緒にその大切な一歩を踏み出そう

はじめのいーっぽ

せんせーい
あーそーぼっ

せんせい　たーっち

ん？

これなーんだ？

笑顔がかわいいね

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：吉森萌（保育士）
趣味：トレッキング
行きたい国：
オーストラリア（シェルビーチ）
最近はまっている事：パッキング、バックキャンプ

ほうあん 第一しおん

令和元年度 事業報告

事業内容：就労継続支援B型 51名、生活介護 9名、
放課後等デイサービス 10名、日中一時支援

所在地：小田原市根府川389　電話番号：0465-29-0146

Report 1　楽しく、一生懸命。みんなの力で、平均工賃2万円を達成！

応援して下さる地元企業の皆さまの協力のもと、平均工賃２万円を達成しました。パン工房グウテ、農福連携「下中たまねぎ」や、しおん自主生産ブランド≪染めれおん≫も人気です。土曜日は＜プレミアム土曜開放（初島１日旅行などちょっと高級なおでかけ）＞で楽しみました。

就労継続支援B型　平均工賃(月額)データ	
神奈川県(平成30年度)	14,696円
県西地区(平成30年度)	10,584円
ほうあん第一しおん(令和元年度)	21,007円

Report 2　将来につながる、地域につながる、体験や訓練を！

放課後等デイサービス「しおんワークプレイス」では、≪茶のまある≫での接客実習（6名）、グウテでのフィナンシェ製造実習（5名）をはじめ、将来につながる生活訓練を行い、他にも陶芸体験や片浦小学校のご家族を招いてのアイシングクッキーづくりを行いました。

次年度に向けて　当法人の中での障害者雇用に取り組んでいきます。

ふくしごと 3

わたしたちの役目

わたしたち
ほうあん第一しおんの職員は、
利用者に働く喜びを
感じてもらいたいと思っている。

働く喜びを感じてもらうためには
仕事がいる。
わたしたちだけでは
仕事をつくることはできない。

でも、毎日、毎日、仕事がある。
作業工場にも、パン工房グウテにも、毎日仕事がある。
地域のみなさんから、働く喜びをもらっているから。

わたしたちは、
職員以外の人たちからも働く喜びを感じてもらいたい。
彼らは(有)オトコーポレーションより働く喜びをもらっている。

わたしたち職員も働く喜びをもらっている。
わたしも働く喜びをもらっている。

この喜びをまた明日も利用者につたえていく。
これがわたしの　ふ　く　し　ご　と

有限会社オトコーポレーション
小田原市内にある発酵食品、腎臓病の食事療法向け食品の研究開発・販売をしている会社。

味噌パウダーを開発中！

今日の資材をピックアップ。

「ジンゾウ先生」こと杉山社長と休憩室で。

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：池田敦（課長）
趣味：ゴルフ
最近はまっている事：YouTube
好きな食べ物：下中たまねぎ

ほうあん のぞみ

令和元年度 事業報告

事業内容：就労継続支援Ｂ型 50名、就労移行支援 8名、
就労定着支援・日中一時支援

所在地：小田原市浜町1-2-15　電話番号：0465-22-8837

Report 1　のぞみBlossomから 5名の利用者が企業へ就職！

就労移行事業≪のぞみBlossom≫では、「働き続ける力」を付けることに取り組み、アサーション、感情コントロール、ストレス解消法などを学びました。老人ホーム、郵便局、干物製造企業、美容院、旅館に就職することができました。

座学やグループワークで学びました。

Report 2　むすび処 茶のまある、地域のお茶の間をめざして！

「茶のまあるをどういう場所にしていきたいか」を記した「茶のまあるの趣旨」を作成、店内に掲示。インスタグラムも活用し、来店者やイベント参加者は増加しました。

フォロー お待ちしています！

Instagram
chanoma7

地域の方が体操教室を開いて、利用しています。

次年度に向けて　地域の子育て世代や一人暮らしの方にむけてオリジナル惣菜のお店をオープンします。
障害のある方が、会社に就職して長く働くことができるように関係機関との連携を強化していきます。

ふくしごと 4

悩み、考え、行動すること

日頃から会話を大切に。

おはなし聞かせてください。

いつもお仕事お疲れ様。

毎年参加しているグループホーム交流会でお互いを労いました。

「他人に迷惑をかけなければ、利用者さんは自由に生きてよい」
これは、利用者さんを支援する上で私が大切にしている考え方の一つだが、悩ましいこともある。

「もっとタバコを吸いたい」
「太っているけれど、たくさん食べたい」
「家族は反対しているけれど異性と交際したい。デートしたい。結婚もしたい」

多くの人はこれらのことを自分の意思で自由にやっていると思うが、知的障害のある人がやろうとすると、周りの人が止めようとすることがある。

「健康面を考えてタバコを減らせるようにしよう」
「たくさん食べないように本人の興味を食事以外のことに向かわせよう」
「異性と付き合って何か問題が起きたら心配。2人きりで会うのをやめさせてほしい」

どれも本人のことを考えての意見だと思う。このような意見を聞くと私は悩む。そして、本人の想いを尊重して、家族の想いも考慮して、この先どのようになるかを予想して、本人の利益や不利益、愚行権（愚かなことを行う権利）についても考えをめぐらして支援する。支援しながら、本当に正しかったのかさらに悩む。もっと実力をつけて、悩まずに支援の「正解」に近づける支援員になりたいと思う。でも、もしそうなったとしても「この支援で本当によいのか？」と他人には気づかれないようにひっそりと悩んでいる支援員でありたい。

なぜか。一つは、仮に支援が間違っていた場合、悩みながら支援している人の方が、悩まずに支援している人よりも間違いに気づきやすいと思うからだ。間違いに気づければ支援方法を変えることもできる。もう一つは、他人を支援するという行為には、ともすると他人の趣味嗜好や生き方を否定してしまうという側面があるからだ。一歩間違えば障害のある人の権利を侵害してしまう存在になりえる。だから、悩みながら慎重に、謙虚な姿勢で支援したいと思う。でも、悩むことに満足してはいけない。考えて行動に移すことが一番大切だ。悩んで、考えて、行動して、悩んで、考えて、行動して。これを繰り返すことが支援の質を高めることにつながると思う。これからも、利用者さんのために、悩み、考えて、もっと行動に移せる人間になろうと思う。

「自転車に乗れるようになりたい」
「〇万円の超合金のフィギュアがほしい」
「体調は悪いけれど休まずにもっと働きたい。稼ぎたい」

これからも、利用者さんは自分の想いを伝えてくれる。想いを人に伝えることができること自体がすばらしいこと。「ありがとう。よくぞ伝えてくれました」と思いながら、また悩みながらの支援が始まる。

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：上田理（所長）
マイブーム：からあげの食べ比べ
最近気になる事：
ドレスドオムライスの
作り方の正解

小田原乳児園

令和元年度 事業報告

事業内容：保育園 0歳児30名、1歳児50名、
一時預かり保育（れんげ組）令和元年度利用者数のべ759名

所在地：小田原市浜町1-2-15　電話番号：0465-22-3523

Report 1 豊かな心と発達をはぐくむ「あそび」研究の実践報告会を実施

「あそび」の専門職を設置し、発達段階にあわせた遊び方や遊びの発展法、遊具や環境の設定に取り組み、保育中の動画を撮影しての園内実践報告会を行いました。

遊びをせんとや
生まれけむ…

Report 2 子育て世代への育児支援の一貫としての「体験保育」

家庭にいる親子が小田原乳児園でお昼寝前まで過ごせる体験日を設定し、園での体験を日々の育児に役立てて頂けるよう応援しました。友達同士の遊びやみんなでいただくお給食、気軽な育児相談など、体験日を４回設け、８組の親子が参加されました。

次年度に向けて　日々の保育の充実と人材育成のために、職員一人ひとりが「コミュニケーション力をつける」をテーマに取り組んでいきます。

ふくしごと 5

心と心

スキンシップから伝わる距離感

はじめはどこか緊張している
抱っこをするうちに、
緊張からのかたさに変化を感じる
いつの間にか柔らかく、温かい

私という存在を認識し、探し、
求める子どもたち
私は寄り添い、受け入れ、認め、
愛情を注ぐ

「笑顔」という
見て分かるものだけでなく、
肌から伝わる距離があるんだ

保育士になったばかりのころ
不安だけが膨らみ、
子どもを抱っこすることに
勇気が必要だった

やっと抱っこが出来た時、
その両手には、
嬉しさの何倍もの不安がのしかかった
とても重たい不安だった
そしてその不安は、
子どもにも伝わっていることが
すぐに分かった

ダメだ
どうしよう
毎日悩んだ

ある日、
その女の子が
嬉しかった瞬間に目が合い、

私は自然と両手を伸ばし、
思い切り抱っこをした

あれ？
抱っこって、
こんなに気持ちがいいんだ！

抱っこって、
こんなに温かいんだ！

抱っこって、
気持ちが伝わってくるんだ！

抱っこって、
最高のスキンシップなんだ！

それ以来、
私の両手には不安などなくなった

「あっ♡」

そう感じたときの子どもとの距離感は、
私にしか分からない
けどそれが、
私が大切にしているもの

子どもたちと感じる、
目に見えない心のつながり
心をはぐくむこと

それが私のふくしごと

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：佐藤悦子（保育士）
趣味：カメラ撮影
好きな色：オレンジ、ピンク
最近はまっている事：
ネットショッピング
今やりたい事：バーベキュー

ほうあんなぎさ

令和元年度 事業報告

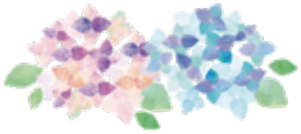
事業内容：子ども発達クリニック 児童精神科医療（診療・リハビリテーション）	
所在地：小田原市本町2-4-12	電話番号：0465-44-4526

Report 1 診療体制を整理、安定した診療継続を行いました

・予定通りの年間診療日数 177 日を実施しました。
・集団精神療法（SST）を高学年と低学年の２グループに分かれて実施。前年度のグループは post-SST として実施しました。
・地域からの新規患者数は令和元年度 317 名（H30 年は 495 名）、延べ患者数は 3,915 名でした。
・リハビリテーションはのべ 2,924 件（ST 1,116 件、OT 1,266 件、PT 272 件）、心理検査は 270 件でした。

Report 2 地域連携を行いました

開成町と連携し、「ほほえみ相談」を隔月６回開催しました。



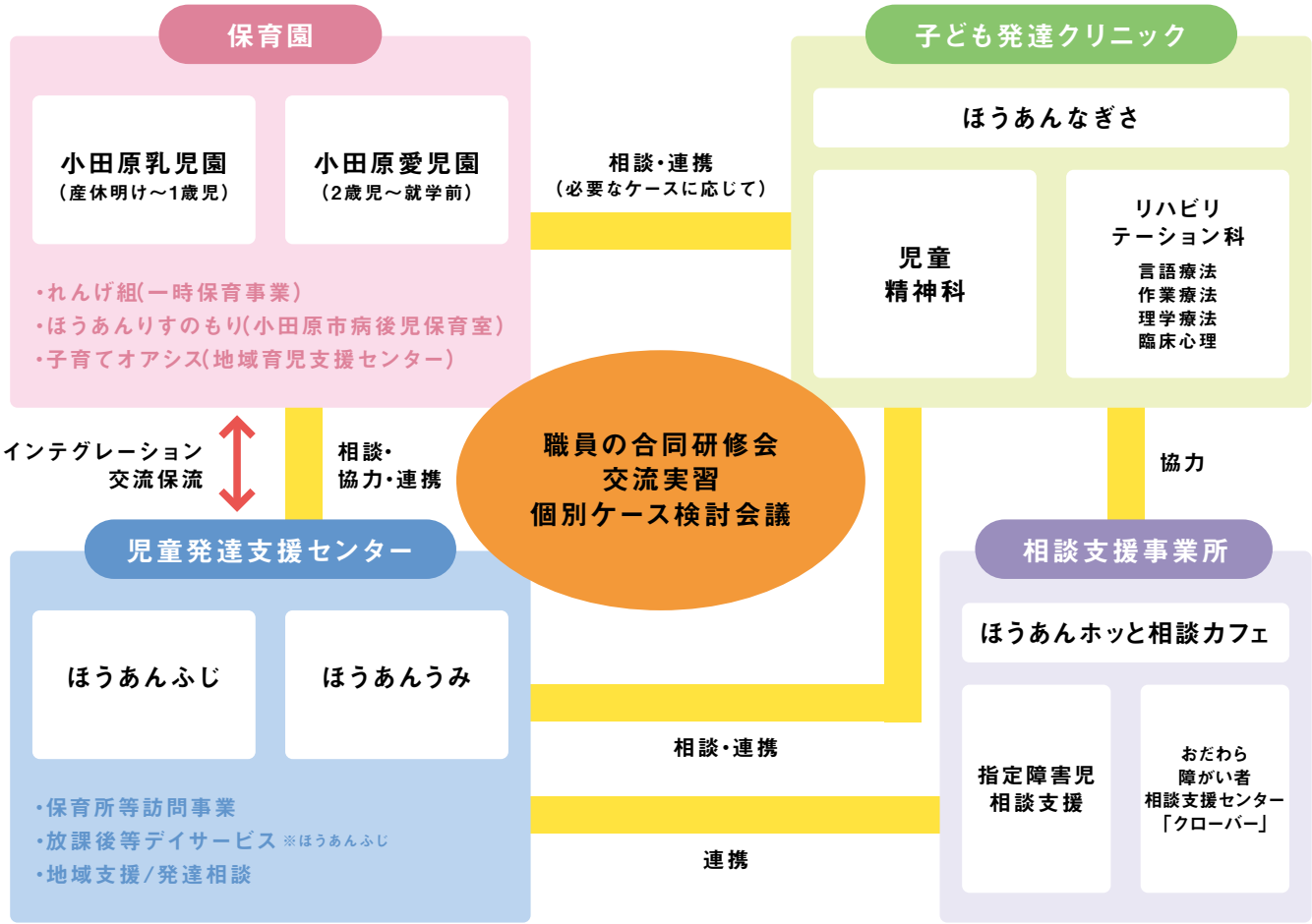
Report 3 法人内の資質向上を図りました

・院内研修（事例検討・勉強会）を実施しました。
・新患の支援会議を定期的に開催し、法人施設からのお子さんについては担当職員も参加しました。
・法人児童分野５施設の合同研修会にアドバイザーとして参加しました。

次年度に向けて

令和２年４月より大園啓子医師による水曜外来を開設し、週５日の診療が可能になりました。感染症対策を行いながら、より質の高い医療が提供できるようにスタッフ全員が力をあわせて尽力していきます。

＜宝安寺社会事業部の児童部門の連携体制＞



ほうあんふじ

令和元年度 事業報告

事業内容:児童発達支援センター 定員40名、
放課後等デイサービス 定員10名、保育所等訪問・日中一時支援

所在地：小田原市曽我大沢7　電話番号：0465-41-4010

Report 1 わかりやすい視覚支援を実践！

視覚支援を使用する方法やツールについて、ファイルを作成し、年２回の見直しを行うことで、使用方法やツールについての共通認識をもつことができました。

Report 2 曽我保育園・小田原愛児園とのインテグレーション（交流保育）

近隣の曽我保育園との交流保育を、年６回行いました。お互いの園を行き来し、リトミックを一緒に楽しみました。小田原愛児園との交流保育は年 11 回実施、簡単なルールのある遊びや、体操を一緒に行い、交流を深めています。

次年度に向けて　新しい給食室が秋にオープンします。食べへの意欲が持てる、そんな給食を提供したいと思います。自分たちで育てたお野菜が給食に出てくる、体験型食育を充実させていきたいと思います。

ふくしごと 6

今日もまた、この瞬間が

こどもと過ごしていると、
何度も同じ瞬間に、遭遇します

絵を描くことに没頭しているこども
完成すると　キョロキョロ
あたりを見回し　私を見つけ
「おおたせんせい　できた」　と
はじめて　名前を呼んでくれました

今まで何度も経験してきた場面
何度もこどもの成長に喜び、感動し、
気持ちを共有しました
絵が上手に書けるようになったことを
はじめて「せんせい」って
呼んでくれたことを

今まで何度も出会った光景なのに
今日は　新しい気持ち　を感じます

完成した絵を見せよう　と　大人を探し
「おおたせんせーい」と呼ぶ　こども

「私」を分かってくれたこと、
名前を呼んでくれたこと

その瞬間　彼の中に
私の存在がある　ということ
私がいま、存在している（生きている）
ということを実感します

あなた　がいるから
ここに　わたし　がいる

自分の存在は、他の誰かがいてこそ、
より感じることができ、
それを、幸せに感じます

私は今日も　福祉　という場所で
自分探しの旅を
しているのかもしれません

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：太田香織（保育士）
趣味：公園でブランコに乗ること
行きたい国：ヨーロッパのどこか
最近なんとかしたい事：
湿気と戦う髪の毛

きらり通信

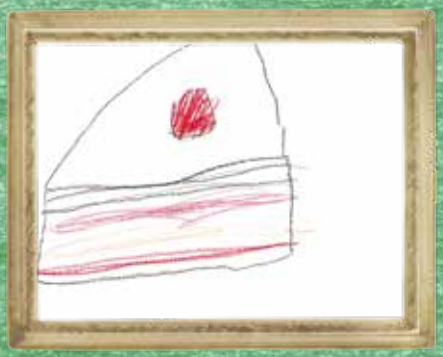
きらりんな日々 vol.4

ふじの絵画展

ふじさん

どこのこきのこ

ポテト



ケーキ

はな

たんぽぽとどこのこきのこ

エピソード1

これを ぼくだと思ってね

金曜日に子どもと遊んでいたとき、「**土曜日と日曜日は、みんなに会えなくて寂しいな**」と先生が言うと、「**ちょっと待ってて**」とどこかへ行ってしまった子ども。
少しすると、この絵を描いて持ってきて「**これ、僕だよ。これあげるから、お休みで会えないときはこれをぼくだと思って我慢してね**」と、言ってくれました。

エピソード2

乗りたいから、大きくすればいいんだ

トミカのミニカーで遊んでいた子ども。「**乗ってみたいな～**」と好きな車を持ってつぶやいていました。そして少しすると、ひらめきました。
「**乗りたいなら、大きいのを作ればいいんだ！**」と。その後職員と一緒に段ボール車を作り、完成♪ノリノリで運転をして遊んでいました。

ほうあん 第二しおん

令和元年度 事業報告

事業内容：生活介護 40名、短期入所４名、共同生活援助６名、日中一時支援

所在地：小田原市根府川383　電話番号：0465-28-2250

Report 1 理学療法士等のリハビリスタッフも参加し、多職種による支援の仕組みづくり！

高齢化や重度化等の変化に対応するために、理学療法士・作業療法士など医療専門職の視点からの評価や助言を取り入れた支援の仕組みづくりに取り組みました。ほうあんふじの OT と PT が月一回訪問し、支援員と協力して実施しました。

Report 2 片浦地区まちづくり委員会に参画し、ライドシェアに協力！

片浦地区の交通の不便さと過疎化に対応するために、社会福祉法人として、神奈川県・小田原市・片浦地区まちづくり委員会との４者による＜共生社会仕組み作り外出支援モデル事業協定書＞を締結、地域イベントや毎週月曜日のお出かけサポートへの車両提供を行いました。

次年度に向けて　意思決定支援プロジェクトチームを立ち上げ、更なる日中活動の充実に取り組みます。

ふくしごと ⑦

ありふれているようで、誰と同じでもない

作品づくりを通し、利用者さんと共感し合えることが楽しみのひとつです。

私が福祉の世界に足を踏み入れた理由、きっかけははっきり言って思い付きだった。

30歳を過ぎてアルバイト繋ぎの生活、世間体もあるしそろそろちゃんと就職しないと・・・。

絵を描いたり物を作ることが好きな私は「バリバリに働かないで好きな時に創作する時間が取れるような仕事ないかなあ。」なんてアーティスト気取りの都合の良い理想を漠然と考えていた。

何となく向かったハローワーク、私の頭の中に『福祉』なんて言葉はなかった。特別やりたいこともなかったから、ありとあらゆる職種を検索して、何となく目に入った『障がいのある方の支援』という言葉。私には知的障がいのあるいとこがおり、そんな仕事があるのかと何となく応募してみたのである。

面接では私の特技（と自分では思っている。）であるピアノやものづくりを音楽や作品づくりの日課に生かさないかとの言葉を頂いた。･･･ここでピンと来た！障がいのあるいとこは音楽が好きで、私のピアノに合わせてはよく一緒に歌っていたが、まっすぐな歌声を聞かせてくれる彼と過ごす時間が私は好きだった。そんな楽しい時間がある仕事！しかも作品づくりにも携われる！

かくしてそんな理由だけで、この仕事私にぴったり！とすっかりその気になったのである。それまでの私はいとこの存在があったにも関わらず、恥ずかしながらこのような仕事があることを意識したこともなければ、知ろうとすることもなかった。

実際働き始めるともちろん楽しいことばかりではなく、福祉職は未経験で何の資格もない無知な私、ましてや人付き合いが苦手な私は利用者さんの気持ちを分かってあげることもできず・・・。福祉が自分に向いているなんて思っていた自信はどんどんなくなっていった。

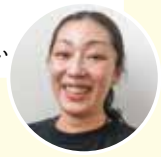
それでも最高の瞬間というのはあって、利用者さんが私の顔を見て嬉しそうにしてくれた時、私の名前を呼んでくれた時、私のピアノで楽しそうに歌ったり踊ったりしてくれた時、そんな時少しだけ利用者さんの力になれたかもと感じ、この仕事を選んで良かった、もっと利用者さんの笑顔を見たいと、直感で始めた仕事なのにまた明日も頑張ろうと現在に至るのである。

こんな私には、支援をする上で大事にしていることは？志は？なんてことは答えられない。私はよくいるただの一人の人間に過ぎず、人の役に立ちたいなんて言える偉い人間ではない。

それでも明日も明後日も利用者さんが笑っていられるために、その姿を見て嬉しくなりたい自分自身のために、ただの私にできることをひたすら考え実行していく。そのことがどこにでもいる私と利用者さんの唯一無二の繋がりを生み出し、やがて私が福祉の仕事に就いた意味を成していくことを信じている。

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：木村かおり（支援員）
趣味：絵を描くこと、物づくり
好きな色：青、緑
好きな映画：アメリ
今やりたい事：ライブに行きたい



ほうあん ふじみのさと

令和元年度 事業報告

事業内容：施設入所支援 30名、生活介護支援 35名、短期入所支援・日中一時支援	
所在地：小田原市曽我大沢7	電話番号：0465-41-4020

Report 1 もっと利用者さんを知りたいからケース会議を！

開所 14 年目、利用者像も随分と変わってきました。30 歳代だった方も 40 歳代後半に突入して、出来ること出来ないことが変化しています。日々見ている利用者さんの様子ですが、情報共有（個別ケース検討会議）を行ってみると「えっ」と思うような驚きの連続でした。優しい職員・きちっと伝える職員・新人職員など相手によって反応が変わるのは当然のこと。それぞれの立場の職員の見方を統合したとき新しい利用者像を共有することができました。

次年度に向けて 地域との連携をさらに深め、利用者さんが生活しやすい地域づくりを職員の手で進めていきます。

Report 2 生活を豊かに！皆さんの「やりたいこと」に応えました

ご本人のペースに合った日中活動や、余暇活動の選択の幅を広げ、新しい経験や、地域貢献活動にも積極的に参加しました。

お散歩の際に、地域清掃を行っています（クリーン大作戦）。

地元曽我大沢の住民の皆さんに職員より手作り布マスクをプレゼント。

ふくしごと 8

こころをあたたかくするもの

私は、「気づき」を大切にしています。

自分が髪の毛を切った時
誰かに「気づいてほしい」と
思ったことはありませんか？

そっと掃除したデスクの上
自分から掃除したとは言わないけれど
誰かに「デスクの上がとっても綺麗！
掃除してくれたの？ありがとう！」と
ひとこと声を掛けてもらえたら
なんだか心があたたかくなりませんか？

利用者さんの日々の暮らしの中には
たくさんの物語があります。

朝起きて、カーテンを開け
顔を洗うことが出来たという
「今日も変わらず出来たこと」

髪の毛を昨日よりも少し上の位置で
結ぶことが出来たという
「昨日よりも出来たこと」

足のサポーターを職員に頼らず
一人で履こうと努力したという
「出来なかったけど、
一生懸命頑張ったこと」

それらひとつずつを見逃さず
「気づく」こと。
そして、ひとこと声を掛けること。
また、そこに感謝の気持ちを
そっと添えること。

「おはよう！」という元気な挨拶に
朝から気持ちの良い挨拶を
「ありがとう」と返します。

「気づき」とともに
感謝の気持ちを持つことで
私は周りにいる人を笑顔にしたいと
心から願っています。

言葉には
人を優しく包みこんでくれる力がある。
たくさん気づいて、たくさん言葉にして、
伝えたい。

今日もこころをあたたかくするもの。
みんなの「気づき」と「ありがとう」の
言葉。

＼この記事は／
私が担当しました！

名前：笹田知佳（支援員）
最近はまっている曲：
DOBERMAN INFINITY「ずっと」
趣味：旅行
好きな食べ物：プリン

ほうあん ホッと相談カフェ

令和元年度 事業報告

事業内容:指定特定及び指定障害児相談支援事業、
1市3町委託相談支援事業

所在地：小田原市本町2-4-12　電話番号：0465-44-4381

Report 1 ご相談者中心の支援の提供と支援者のチーム作りに取り組む！

ご相談者ご本人の思いや希望をもとに、ご本人が選択した生活の場において暮らし続ける。このことを大切にして、ご本人の現状をモニタリングで直接お会いして確認するとともに、サービス担当者会議を90件のケースにて実施、利用施設や関係機関と情報共有を進め、ニーズにそった支援が提供できるよう取り組みました。
ご相談者によっては、選択する経験がなかったり、意思の表出やその意思を汲み取ることが難しい方もいらっしゃるため、今後も意思決定支援の意識をもち、様々な配慮や工夫をしながら取り組みます。

次年度に向けて　ウィズコロナの状況に合わせて、ICT技術を取り入れ、ウェブ会議やスマートフォンを利用した面談やミーティング等、感染防止対策を行いながらの業務を模索します。

ふくしごと 9

過去に目をむけ、未来を見る

過去の自分が、未来に向かえるようになるまで。

生活支援員として9年。
直接、利用者支援に関わっているときは自分自身の姿が見えないことが多々あった。

「こうしないといけない」「自分たちがやらないといけない」という妄執に囚われ、利用者さんが発信するサインに気づかず一方向でしか物事が見られない状況だった。

その頃の私は「間違った使命感」を抱き、支援者としての考えを押し付ける存在だった。でもそんな私を受け止めてくれる利用者さんたちがいつもあり、様々なメッセージを発してくれた。
また幸いなことに私には私の行動を正してくれる「仲間」がいた。
私のいけないところを指摘し、こうした方が良いのではないかとアドバイスをしてくれ、徐々に私は考え方を変えることが出来るようになった。

その時、自分の考えが間違っていたと気づくことができ、「後悔」することができたのが何より大きかったと思う。

「こうあるべき」という考えはある意味必要かもしれないが、その考えが諸刃の剣であることを学ばないといけない。

言葉だけでなく、行動に移さないといけない。

求められることは多いかもしれないけど、仲間がいれば一緒に進んで行ける。

利用者・仲間から学ばせてもらった月日は今も大事な宝物になっている。

相談支援専門員として4年。
その時の経験を活かし相談業務に取り組んでいます。

どうすれば「利用者さんのためになるのか」未だに葛藤は尽きません。
でも、過去の大事な月日は今日も私の力になってくれます。

過去を見つめて未来をみる。そこで見つかる宝物がある。

あなたの中で輝いている宝物はありましたか？

＼この記事は／
私が担当しました！

名前:大谷秀俊(相談支援専門員)
趣味:料理
行ってみたい国:台湾
好きな事:海外ドラマを観ること
好きな食べ物:ぷりん
最近何とかしたい事:痩せたい

おわりに

明治、大正、昭和、平成、そして令和の時代へ。
なによりも、120年の間、常に支え続けていただいた地域の皆様に、
感謝をお伝えしたいと思います。

子どもたちはまさに時代の鏡です。
昔の子どもと今の子どもが違っているように、
私たちが生きる世界の風景は確実に変わり続けていきます。

私たちの仕事　～ふくしごと～　も、
明治の時代と令和のそれとでは大きく違っています。
その中でふと、創設当時と変わっていない部分があることにも気づかされます。

時が変わっても、変わらないもの。今こそ、変わらなければならないもの。
そして、これから来る時代のために、
時代の変化に抗してもあえて残していくことを選びたいものは。

For the future!

善きもの、かけがえのないものを、子どもたち、そして後の世のために残していけるように。
そのために、誰よりも自分自身が変わることを恐れず、前に踏み出せるように。
未来に向かって、「ふくしごと」は続きます。

令和元年度 決算報告

貸借対照表（単位:万円）	
流動資産	65,273
固定資産	307,870
資産部の合計	373,143
流動負債	14,549
固定負債	46,931
純資産の部合計	311,681
負債及び純資産の部の合計	373,143

決算の詳細についてはホームページをご覧ください。
https://houan1900.jp

事業活動計算書（単位:万円）	
サービス活動収益計	152,904
サービス活動費用計	147,209
サービス活動増減差額	5,695
サービス活動外収益計	2,736
サービス活動外費用計	1,821
サービス活動外増減差額	915
経常増減差額	6,610
特別収益計	2,496
特別費用計	2,788
特別増減差額	▲292
当期増減差額	6,318

宝安寺社会事業部 後援会

子どもたちや利用者さん、
皆が暮らしやすい地域づくりをめざす宝安寺社会事業部の
応援団として、さまざまな協力活動を行います。

■宝安寺社会事業部後援会事務局
Tel：0465-22-7667　Fax：0465-24-4411
E-mail：kouenkai@houan1900.jp
https://houan1900.jp/about/supportgroup/

スタッフ募集

子どもたちや利用者さんの笑顔をつくりだそう！
見学・職場体験できます。

■採用・求人に関するお問い合わせ
TEL：0465-22-7667（採用担当）
ウェブサイトで採用情報を随時更新中
https://houan1900.jp/recruit/

日々是好日

宝安寺の本堂の上り口に、昔から置かれている木額。
「脚下照顧（きゃっか・しょうこ）」※と書いてあります。
「履物をそろえましょう」という意味です。

そしてもう一つの意味は、
「足元を照らし、よく見よ、自分自身の大本を見つめよ」
ということ。

「脚下照顧」という言葉は、
物事が思うように進まないときに、
その原因を自分以外の要因に求めてしまうことはよくあり、
そんなときにこそ、
一度立ち止まって自らを顧みることを教えてくれています。

反対にうまく行っているときには、
勢い余って足元をすくわれかねません。
「脚下照顧」の心を忘れないことで、
地に足がついた歩みを着実に続けることができます。

履物の脱ぎ方には精神状態がよく表われるため、
脱ぎ履きのたびに自分の心の状態を意識し、向き合うことは、
大切な修行となります。
靴とともに、心と呼吸を整えて、本堂に上がります。

いま、私たちはこれまでに経験したことのない、
目に見えないウイルスの脅威の中で暮らしています。
今日を生きることに懸命に向き合う日々ですが、
こんな時だからこそ、私たちの暮らし方をそれぞれが振り返り、
将来を担う子どもたちやその先に生きる子孫が幸せに生きるために、
何をすべきかを考える機会として活かしたいと思います。

脚下照顧
鎌倉時代、孤峰覚明という僧が「禅の極意」を問われ、「悟りとは外に求めるものにあらず。自分自身の内面を見つめることで悟りを得よ（脚下照顧）」と応えた。（『禅林類聚』）

社会福祉法人 宝安寺社会事業部
〒250-0004 神奈川県小田原市浜町1-4-38
TEL：0465-22-7667（法人本部）　FAX：0465-24-4411
https://houan1900.jp
houan1900